

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2026年1月27日		～	2026年2月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	2026年1月27日		～	2026年2月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小池特別支援学校に隣接しており、学校との連絡や利用児童の状況把握についても共有しやすい環境である。	・学校や放課後等デイサービスでの様子など、児童の状況が伝えやすい環境である。	・日常的に情報の共有を図り、早急に個別対応が必要な状況に備えておく。
2	・室内外とも十分活動できるスペースが確保出来ている。	・活動スペースが広いと、身体を使ったダイナミックな運動プログラムを取り入れている。また、障害特性に応じた個別環境でのプログラム提供も行っている。	・定期的な会議でプログラム内容の検証を行い、楽しく安心安全なプログラムの提供に努める。
3	・専門的な療育の視点に基づいた、支援の提供を行っている。	・定期的に外部講師を招き、事例検討を行うなど、専門的な療育の向上に努めている。	・全スタッフへの研修機会の頻度を更に高め、質の向上に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・基本的に園内での活動が中心のため、外出活動を行っていない。	・職員配置や安全面の確保	・個別の支援が必要な児童も多く、職員配置や安全面の確保といった課題をクリアする必要がある。
2	・保護者を対象としたイベント	・イベント内容(保護者の興味や関心等)のニーズ調査や日程調整	・アンケート調査を基に、保護者を対象としたイベントの実施を検討する。
3	・地域との交流	・園内行事で地域との交流も行われているが、地域ニーズや情報等の不足。	・地域での活動における安全管理体制の検討や子どもたちの興味や関心、ニーズに合った交流内容を検討する。